

## 事業概要書

事業名	日本語を母国語としない子どものための学習支援事業															
団体名	認定 NPO 法人 外国人の子どものための勉強会															
事業担当課	文化観光国際課															
事業概要																
<p>日本語を母国語としない子どもたちを対象に、文化ホール教室、常盤平教室、新松戸教室の 3 教室で、生活に必要な日本語だけではなく、学習に必要な日本語を指導し、就学や就職などにおける選択肢をより多く持ち、真の自立のために必要な力の育成を支援する。</p> <p>また、当該児童・生徒が、地域コミュニティから孤立することのないように、地域の人々に講師やスタッフとして日本語指導やイベントに参加してもらい、日本語を母国語としない子どもの学習支援、生活サポートを強化する。</p>																
取り組もうとする松戸市のテーマ（課題）	<p>松戸市では、外国籍市民数が年々増加しており、それに伴い、日本語を母国語としない子どもも増加している。こうした子どもたちの中には言葉の障壁により、周囲との円滑なコミュニケーションが行えない、授業を理解できないといった問題が生じており、このような問題が、子どもの学習の機会の喪失や、不登校や非行を助長することが危惧されている。</p>															
事業の目的	<p>日本語を母国語としない子どもへ、日常生活や学習に必要な日本語指導及び学校での授業内容を補う学習支援を行い、すべての子どもが均しく学ぶことのできる機会を創出する。</p> <p>加えて、子どもが地域から孤立しないような時間と場所を提供し、安心して暮らすことのできる環境づくりをする。</p>															
事業内容	<p>（既存事業の強化）</p> <p>① 定例勉強会</p> <table border="0" data-bbox="478 1388 1133 1601"> <tr> <td>文化ホール教室</td> <td>土曜（午後）</td> <td>中学生対象</td> </tr> <tr> <td>常盤平教室</td> <td>火曜（午後）</td> <td>小学生対象</td> </tr> <tr> <td></td> <td>木曜（夕方）</td> <td>中学生対象</td> </tr> <tr> <td></td> <td>土曜（午前）</td> <td>小学生対象</td> </tr> <tr> <td>新松戸教室</td> <td>水曜（夕方）</td> <td>小中高生対象</td> </tr> </table> <p>② 夏休み教室 夏休み期間のうち7月下旬 5日程度（午後）</p> <p>③ 入試対策教室 9月または10月～翌年3月 日曜日（午後） 中学3年生対象</p> <p>既存事業①～③を強化するために、学習時間、受け入れ生徒数、スタッフ数を増やす。 受け入れ生徒数： 転入手続き時に周知するためのチラシの配布、ポスターの掲示をする。</p>	文化ホール教室	土曜（午後）	中学生対象	常盤平教室	火曜（午後）	小学生対象		木曜（夕方）	中学生対象		土曜（午前）	小学生対象	新松戸教室	水曜（夕方）	小中高生対象
文化ホール教室	土曜（午後）	中学生対象														
常盤平教室	火曜（午後）	小学生対象														
	木曜（夕方）	中学生対象														
	土曜（午前）	小学生対象														
新松戸教室	水曜（夕方）	小中高生対象														

	<p>スタッフ数： 下記新規事業を実施し、地域の人々に講師またはスタッフとして当会に参加を促す。</p> <p>学習時間： 受け入れ生徒数、スタッフ数の状況を加味しつつ、部活動後に参加できる遅い時間の開講、土日祝日の開講、週に複数回の参加等開講時間のニーズを調査し、学習時間を増やす。</p> <p>(新規事業)</p> <p>① スタッフ養成及び多文化共生講座 (年間5回開催) 日本語を母国語としない子どもが特に多い地域の人々に向けた講座を実施する。講座の内容は、日本語指導や学習指導のノウハウ等スタッフを養成する内容と、地域の人々に広く多文化共生や異文化への理解を深めてもらう内容とする。講座は、外部講師を依頼し、全5回とする。</p> <p>② 地域連携 地域との連携を深めるため、大学生スタッフを募り、夏季や冬季の集中講座に講師またはスタッフとして参加してもらう。</p>
協働の必要性	<p>松戸市では、将来を支える子どもたちのために様々な施策を展開している。その一環として日本語を母国語としない子どもが地域で孤立することなく暮らしていけるよう、日本語指導及び学習支援を実施することが重要と考えている。当会は外国人の子どもを対象に学習支援事業をしている。</p> <p>行政が、当会と連携することで、言語の障壁や、文化の違いのために、日常生活を送ることにストレスや不安を感じる子どもたちに居場所を提供することができる。また、地域と子どもたちのかかわりを構築し、地域の人々に日本語を母国語としない子どもへの理解や協力を促すことができる。</p> <p>また、当会が、行政と連携することで、行政の抱える課題の共有、事業の周知及び会場の確保を一層強化することができ、かつ事業活動の範囲を広げることができると考えている。</p>
事業の目標	<p>① 来日後1年未満の子どもたちの学校生活全般に関する不安の軽減。 入会時及び入会后6カ月後に入会者向けアンケートを実施し、不安の軽減の程度を検証する。</p> <p>② 学習支援の機会増。 各教室の様子を見て、学習時間(90~120分)を延長する。</p> <p>③ 学習支援の活動強化。 生徒数を35人から52人にする。 スタッフ数を42人から52人にする。</p>

## 事業の予算概要

【労力換算（限度額算入）】

（単位：円）

区分	科 目	予算額	積算内訳
団体	労力換算額 (A)	¥ 2,065,525	新規事業（講座）及び既存事業の運営

【収 入】

区分	科 目	予算額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 62,121	事業費の一部を団体の会計より拠出
	寄付金	¥ 100,000	
	生徒参加費	¥ 315,000	3,000円×3学期×35人
	自己資金の合計額 (B)	¥ 477,121	
市	協働事業負担金 (C)	¥ 500,000	
合計額 (D) = (B+C)		¥ 977,121	

【支 出】

区分	科 目	予算額	積算内訳
負担金の 交付対象 経費	報償費	¥ 220,000	外部講師謝礼 40,000円×5回 学生スタッフ謝金 500円×8人×5回
	消耗品費	¥ 50,000	インク・コピー用紙・文房具・手指消毒液、事務用品
		¥ 100,000	定例勉強会(教材) 2,000円×50冊
	印刷製本費	¥ 70,000	講座チラシ印刷(500部) 10,000円 講座資料印刷 40,000円 生徒募集チラシ印刷(日本語・中国語・英語・ベトナム語、各250部) 20,000円
	委託料	¥ 30,000	掲示用の講座ポスター・チラシ(デザイン費含む)
	使用料及び賃借料	¥ 322,121	講座会場使用 10,000円×5回 定例教室使用 常盤平教室: 19,000円×12回、新松戸教室: 693円×38回 入試対策教室使用 924円×11回 693円×11回
		¥ 25,000	講座会場での器材(マイク、プロジェクター、スクリーン)使用料 5,000円×5回
対象経費の合計 (E)		¥ 817,121	
(その他 対象外) 経費	食糧費	¥ 30,000	行事当日担当会員の昼食代 600円×10人×5回
	通信費	¥ 100,000	会報送付 30,000円×3回 寄付領収書送付 10,000円
	印刷製本費	¥ 30,000	会報 10,000円×3回
	その他経費の合計額 (F)	¥ 160,000	
合計額 (G) = (E+F)		¥ 977,121	

【チェック項目】

- 1 協働事業負担金 (C) が、対象となる経費 (E) 欄の90%以内であること。
- 2 協働事業負担金 (C) が、自己資金 (B) 欄に労力換算額 (A) 欄を加えた額を超えないこと。
- 3 協働事業負担金については、50万円を上限とする。

## 労力換算計算書

(単位：円)

項 目		換算額	積算内訳
労力換算額	活動計画		人数×時間回数×925円
	講座打ち合わせ（年間5回開催）	185,000 円	5 人 × 2 h × 20 回 × 925 円
	講座準備（5回）	46,250 円	5 人 × 2 h × 5 回 × 925 円
	講座運営（5回）	69,375 円	5 人 × 3 h × 5 回 × 925 円
	既存事業強化の検討及び実施	55,500 円	5 人 × 2 h × 6 回 × 925 円
	既存事業の運営	1,709,400 円	42 人 × 2 h × 22 回 × 925 円
合 計 (A)	2,065,525 円		